

# ①ディッピング容器で初生仔牛を運搬



目の付け所がディッピング剤容器

カテゴリー	運搬	
コスト	不明	★
手軽さ	初生を持ち上げなくて良いので、楽。	★
きっかけ	一輪車代わりに	
取材農場 (取材者)	S農場 (塩)	

## (省力化の目的)

TSの分娩で、通路に仔牛を引っ張り出したあと、ディッピング材容器の丸みを利用して横から乗せられるカートを自作。

## (利用の方法)

横から仔牛を乗せる。  
ディッピング材の丸みがあるので、牛の足が上に上がり乗せやすく、牛が立とうとしないし、暴れない。  
構造上、低い位置の移動なので持ち上げなくて良いのがとても楽。

## (アドバイス)

作業位置が低く、市販品よりずっと便利。  
ごつくしないで軽量素材で作るのが良い。

## (動力源・規格など)

- ・地元の鉄工所に制作依頼  
材料は持って行った。
- ・半切りディップ容器
- ・餌槽車タイヤ
- ・収納時は立てておく





## ②電動カートで初乳を運搬



カテゴリー	運搬	
コスト	45万円	★
手軽さ	朝夕の運搬に便利	★
きっかけ	一輪車代わりにH29~利用	
取材農場〔担当者〕	〇農場〔塩〕	

### (利用の方法)

- ①蓋付きバケツを2個積んで  
前進・後進スイッチを押すハンドルを  
握って前進していく。
- ②荷台下にあるバッテリーに充電する  
(週に1度くらい)



### (動力源・規格など)

- ・園芸用の電動カートをネットで購入。  
(いろいろな規格があるとのこと)
- ・動力はバッテリー、1週間に 一度程度100Vで充電
- ・積載200kgまで運べるため力があるのと雪道がすごく楽。
- ・鉾塩など重い物も楽に運べて便利！



### (省力化の目的)

パーラーから、パステライズをかけた生乳を哺育舎まで150 m位の距離を運搬。多いときは40L程度の量になる。電動アシストがあるのでとても軽い。またバックギアもあるのででこぼこ道に強い。

### (満足度)

元は、リヤカー。冬はソリなどを使っていた。今は自力で運ぶ気がしない。壊れたらまた絶対買うと思う。必要不可欠な道具になった。



### ③飛ばされないホルダー掛けて 牛も人も楽チン・快適哺乳

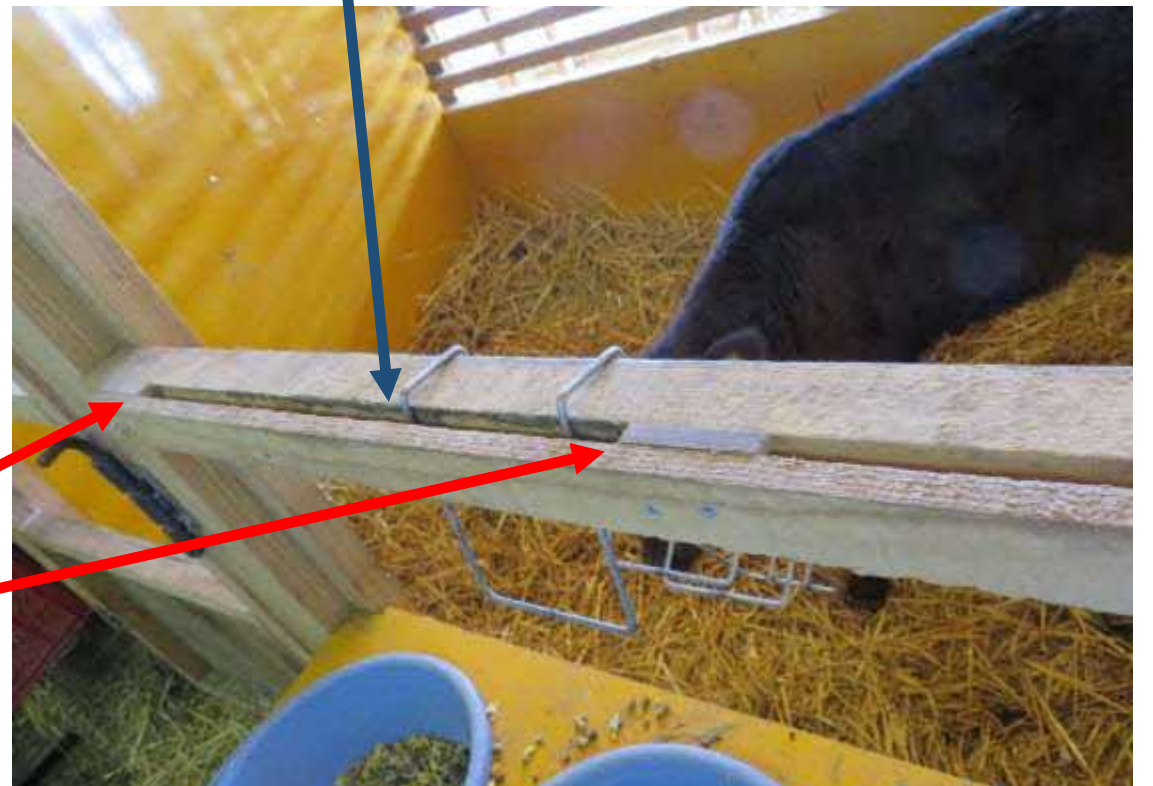


ホルダーは3種類用意している。仔牛の頭と乳首位置を考慮して、ホルダー掛けの高さを決めた。

ホルダー掛けの隙間は、ホルダーの針金の直径よりわずかにゆとりがあるようにし、差し込む部分の板幅は、牛がホルダーを突き上げて簡単には外れないくらい(5センチ程度)のものにした。

十勝管内 A農場

ホルダーを掛ける隙間のゆがみ防止のため、隙間の途中にも板をかませる。



- 飼養頭数：繁殖雌牛 70頭 酪肉から和牛繁殖へ転換
- 労働力：2人
- 背景：哺乳瓶での作業を楽にしたかった。
- 効果：哺乳瓶が飛ばされることがないので、哺乳中も他の作業ができる。
- 工夫のポイント：板を二重にして隙間にホルダーを掛けられるようにしたので、突かれて飛ばされることがなくなった。隙間は、ホルダーの針金の直径に合わせたので、哺乳瓶を入れてもガタつきが少ない。
- コスト：資材代（木材）で1頭あたり約700～1,000円（自力施工）。
- その他：ホルダーが飛ばされることがなく、飲みが遅い仔牛を待つイライラがなくなった。



## ④ほ乳作業がらくらく簡単！

- ◆音更町農家のものを参考にしました。
- ◆市販品を使用してみましたが、強度不足を感じました。
- ◆そこで哺乳びんのキャップ、乳首の脱落防止に保護枠を付けました。
- ◆哺乳びんの固定には、ゴムひもを使いました。
- ◆材料は3mm 及び5mm の鉄筋です。
- ◆哺乳びん入れは取り外して移動可能です。



哺乳びんのキャップ、  
乳首の脱落防止に保  
護枠をつけています。

3頭同時哺乳



哺乳びん入れは、  
取り外して移動  
可能





# 楽々ミルク作り事例

容量は7リットルで、価格は約9,000円。  
タイマーセットで、優しくかく拌され、ミルク作り完了！。  
作業中に、次のミルクを作っておけば、作業効率アップ



小型洗濯機と  
電子ばかり



先に  
お湯を入れて



次ぎに  
粉ミルクを！



美味しい  
ミルクだ！